

令和4年度第1回理事会議事録

1. 日 時：令和4年5月23日（木）18:30～20:00
2. 出席者：齋藤浩治、石山雅大、奥沢悦子、木村正彦、野坂知加、吉田泰憲、逆井久美子、小山内誠、吉岡拓朗、川口裕美、高松みどり、細川和子、番場隆彦、本田昌樹、河村義雄、神山哲哉、吉岡治彦、三上英子、太田孝雄、鹿間悟
3. 欠席者：米沼順子

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に齋藤会長があたり、書記に高松理事が指名され、審議が行われた。審議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、オンラインで行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告
石山学術部長より特になしと報告があった。
2. 公益部経過報告
齋藤会長より高校心電図健診は順調に進んでいるとの報告があった。
3. 渉外部経過報告
木村渉外部長より特になしと報告があった。
4. 事務局経過報告
野坂事務局長より特になしと報告があった。
5. 齋藤会長より報告
 - ①日臨技理事会報告
 - 1) 令和3年度支部学会参加者報告
 - 2) WEB学会の経費
Live配信もすると費用がかかる。今後の学会運営として、全国学会はWEB併用、支部学会は現地開催の方向です。
 - 3) 精度管理事業
SARS-Cov2 遺伝子検査の導入として約1,000万円の費用がかかっている。
 - 4) 総会
6月25日に日臨技の定時総会が行われる。議案書が届き次第、電磁式または書面にて意思表示をすること。

②タスクシフトシェアに関する厚生労働省指定講習会

5月15日（日）東奥日報新町ビル3階ホールで参加者58名、実務委員7名で開催した。次回は直腸肛門機能検査の早川先生の予定と9～11月で日程を調整中。今後は今回の受講者の中から数名に実務委員を担当してもらい、事前準備も含め実務担当者を増やしたい。

【議題】

1. 県学会

番場理事より県学会の進捗状況の説明があった。抄録集は今月中に完成予定。

齋藤会長より以下の提案があった。

①当日スケジュール

9:00～9:45 総会、奨励賞・功労賞授賞式

9:50～11:50 学会（15演題、1演題につき発表6分、質疑2分）

12:00～12:50 ランチョンセミナー

13:00～14:00 特別講演

②ランチョンセミナーについて

- ・3社より申込あり。協議の結果「デンカ株式会社：sd-LDLの臨床意義について」に決定。残り2社の内容も非常に興味深いため、今後勉強会で開催したいと考えている。
- ・お弁当は50個準備する。

③演者・座長・理事の参加

現地参加かWEB参加かを演者・座長は学会事務局で、理事はサイボウズで確認することとなった。

④前日準備、その他

- ・前日準備は14時頃から開始。
- ・当日は、総会と学会で生涯教育の分類が異なるため受付をどうするかが課題となった。

野坂理事より以下の提案、質問があった。

①学会参加費について

齋藤会長より会費は無料でもいいのではないかと提案があった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

2. 総会議案書の内容

野坂事務局長より事業経過報告、吉岡（拓）理事より会計報告、太田監事より監査報告があった。6月初旬には各施設および自宅会員へ発送し、書面表決書提出の締め切りを6月15日とすることとなった。

理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会長

印

監事

印

印